



平成31年2月15日  
第818号

一般財団法人日本遺族会  
〒100-0001 東京都千代田区  
九段南一丁目六番一七号  
千代田会館三階  
電話 03-3261-5521  
00160-6-25389  
編集 発行人 村上和男  
毎月1回15日発行  
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 平成31年度 事業計画まとまる 常務理事会等で審議検討

平成三十一年度日本遺族会の事業計画及び収支予算書について、一月二十九日開催の事務局長会議、女性部、青年部の両幹事会でそれぞれ意見を聴取、審議を経た後、同月三十日に開催した常務理事会において審議検討され、原案として取りまとめられた。これらは二月二十一日に開催する第十六回理事会の議案として上程される。

日本遺族会は、二月十一日に開催する第十六回理事会に向けて、常務理事会での審議を経て、平成三十一年度事業計画及び収支予算書の原案を固めた。  
事業計画の前文では、「平成の御代は、多くの人々の努力の上に、平和な時代となった。来る新しい御代も必ずや平和な時代とすべく、先人に感謝の気持ちを忘れず、初心



常務理事会で挨拶に立つ水落敏栄本会会長  
= 1月30日、千代田会館で

に立ち返り、世界の恒久平和を希求し続けなければならぬ」と謳った。  
英霊顕彰運動では、根幹である内閣総理大臣、閣僚の靖国神社参拝が途絶えていることから、引き続き総理、閣僚が参拝されるよう要請するとともに、定着化に向けて努力する。また国会議員本人の参拝も大きく減少していることから、参拝されるよう地元選出国会議

員に対し強く要請することとした。  
処遇改善運動では、公的年金の引き下げや、甲斐金などの支給取りやめ等を模索する動きがあることから、あくまでも国家補償の理念で支給されることが、本会・青年部が両輪となって新しい遺族

## 事務局長会議 女性部幹事会 青年部幹事会 相次いで開催

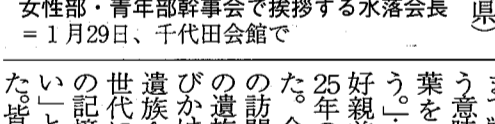
日本遺族会では一月二十八日事務局長幹事会を、翌二十九日事務局長、女性部幹事会、青年部幹事会を相次いで開催した。事務局長幹事会並びに事務局長会議では事務局長幹事の交代を報告、女性部幹事会では支部女性部長の交代並びに女性部役員の数値目標について報告された。  
それぞれ会議では、英霊顕彰や処遇改善運動の

## 事務局長協議会の役員改選 相次いで開催

経過並びに今後の運動方針、平成三十一年度政府予算編成において決定された遺族処遇改善項目等が報告された。  
次いで、平成三十一年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、意見が交わされた。  
なお、女性部幹事会では女性部結成六十五周年記念事業や研修会の開催について、青年部幹事会では研修会の開催につい



事務局長会で新役員決まる  
= 1月29日、千代田会館で



女性部・青年部幹事会で挨拶する水落会長  
= 1月29日、千代田会館で

て、それぞれ審議された。また、事務局長会議では任期満了に伴う役員改選が行われた。  
新役員は次のとおり。  
(敬称略)

- 事務局長協議会役員
- 幹事長 山田 周二 (宮城県)
  - 幹事 稲 寿 (栃木県)
  - 同 小椋 祥司 (岐阜県)
  - 同 池見 健次 (愛媛県)
  - 同 渥美 輝夫 (長崎県)

国民に親しまれる施設として、さらに認知度を高めなければならぬ、との会長、世話人、同事業参加者等経由で末端会員まで告知するなど広報活動に各支部に協力願う。  
昭和館運営事業では、平成三十一年三月の開館以来、二十年という記念すべき節目の年を迎え、当館の役割は増す一方である。戦中・戦後の労苦と平和の尊さを伝え、広く

## 特別委員会 第二回 開催

一月三十日、第二回目の「今後の遺族会のあり方を考える特別委員会」が東京・千代田会館会議室で開催された。  
今回は支部の実態調査結果を受けて、今後の検討課題の精査について説明があり、委員より意見

## 総務省で 人事異動

▼大臣官房審議官(恩給担当) 相馬 清真氏 (二月二十八日付)

### 靖国神社御創立 百五十年記念事業

ご奉賛のお願い

靖国神社では、御創立百五十年の節目の年を迎えた本年、次の二つの事業を実施いたしております。

- 一、本殿・霊籠奉安殿関連工事 (冷暖房の設置・エレベーターによるバリアフリー化・霊籠奉安殿修繕など)
- 二、靖国会館内装改修・休憩所設置工事 (一、外苑整備工事)

つきましては、ご遺族・崇敬者各位をはじめ幅広い国民の皆様方のご賛同をいただき、この記念事業へご奉賛くださいますようお願い申し上げます。

※拝殿耐震工事につきましては施工を延期することになりました。

御創立150周年記念事業特設サイト <http://www.yasukuni.or.jp/150th/>

●記念事業ご奉賛金  
一口金五〇〇〇円(何口でも可)  
※年会費を含めることもできます。

記念事業にご奉賛いただきました方は、受納月から二年間の崇敬奉賛会正会員として、ご待遇申し上げます。

- 記念事業総経費……二十億円
- 神社拠出金……十億円
- 募金目標……十億円
- 募金期間……平成三十一年十二月末

靖国神社 崇敬奉賛会事務局  
〒102-8246 東京都千代田区九段北三一一一  
電話 03(3261)8143(直通)  
受付時間:平日午前9時~午後5時  
お申し込みお問い合わせ

# 南方四地域で調査

## 未送還遺骨の情報収集

JARRWC

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）が海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、ビスマーク諸島、東部ニューギニア、ミヤンマー、マリアナ諸島の各地域の派遣に対し本会から一人が参加し、現地住民に事業を周知するとともに、遺骨情報の提供を呼びかけた。

### ビスマーク諸島

ビスマーク諸島現地調査第五次派遣は、十一月二十四日から十二月九日の期間で実施され、パプアニューギニア・ブーゲンビル島タロキナ地区を調査した。

### 今回派遣団が受領した

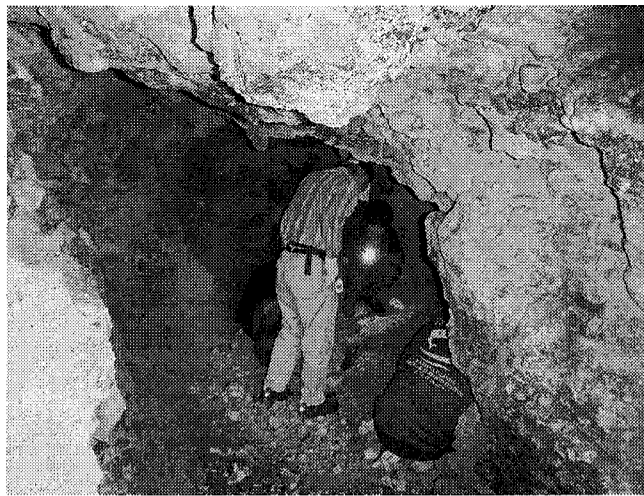
遺骨は推定二百十柱で、ソファノ島の遺骨保管場所に安置された。

### 東部ニューギニア

東部ニューギニア現地調査第五次派遣は、十二月八日から二十日の期間で、パプアニューギニア・モロベ州を調査した。

### 派遣団はサラワケット

山系のバワンで、現地住民の了解を得て、日本兵の埋葬地とされる場所を調査したが遺骨の発見にはいたらなかった。また、現地在留邦人からの情報で訪問したバンドン村で



スーサイドクリフの洞窟内を調査する団員  
= 1月22日、サイパン島で

日本遺族会では、六月二十三日に沖縄県遺族連合会と共催で「第五十八回沖縄平和祈願慰霊大行進」を実施する。この事業は、先の大戦で、一般住民を含む多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくさ

## 第58回沖縄平和祈願慰霊大行進のお知らせ

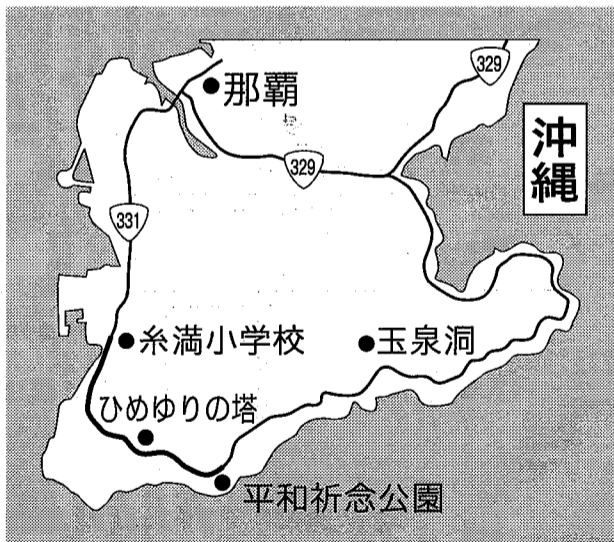
### 慰霊大行進のお知らせ

日本遺族会では、六月二十三日に沖縄県遺族連合会と共催で「第五十八回沖縄平和祈願慰霊大行進」を実施する。この事業は、先の大戦で、一般住民を含む多くの尊い命が失われた沖縄戦を振り返り、砲弾降りしきる中、苦難の撤退を余儀なくさ

いた。参加募集要項は以下のとおり。

▼期間 六月二十二日（土）～二十四日（月）二泊三日

▼費用 約三～四万円程度 ※費用には宿泊代、食事代、バス借上げ代、添乗員費用、懇談会費用等が含まれる。



第57回平和祈願慰霊大行進 = 平成30年6月23日

## 硫黄島で掘削調査実施

### 燃料不足等の影響で難作業

日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）は、防衛省が実施した地中探査リーダーにより反響があった箇所のうち、

※参加人数により費用が異なります。また、自宅から沖縄の往復交通費、那覇空港から集合場所となる那覇市内のホテルまでの往復交通費は個人負担となりますので、各自お手配ください。

▼事務局幹事会 1月28日 1月29日開催の事務局長会に付議する事項について。

▼青年部幹事会 1月29日 ①英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法②平成31年度事業計画及び収支予算書③結成65周年記念事業等研修会の開催について。

▼第2回「今後の遺族会を考える特別委員会」1月30日 支部の実態調査を受けて、今後の検討課題の精査。

## 北方領土返還全国大会

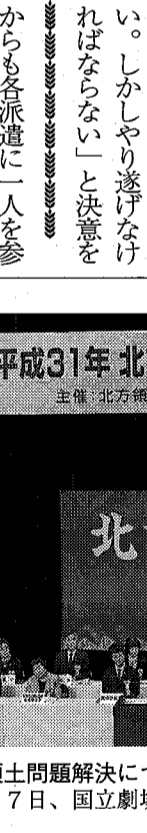
### 領土問題の早期解決を目指す

「北方領土の日」の二月七日、領土問題の早期解決を目指す、政府と民間団体が主催する「北方領土返還要求全国大会」が東京・国立劇場で開催された。

大会では元島民らが切なる思いを訴えて早期返還を求めた。

安倍晋三首相は「戦後七十三年以上残された課題の解決は容易ではない。しかしやり遂げなければならぬ」と決意を表明した。

さらに、関係閣僚、各採択されて閉会した。



北方領土問題解決について決意を表明する安倍晋三首相 = 2月7日、国立劇場で

界の返還要求運動関係者らが、各々の立場で北方領土問題の解決に向けた決意を述べた。

最後に大会アピールが採択されて閉会した。

「北方領土の日」の二月七日、領土問題の早期解決を目指す、政府と民間団体が主催する「北方領土返還要求全国大会」が東京・国立劇場で開催された。

大会では元島民らが切なる思いを訴えて早期返還を求めた。

安倍晋三首相は「戦後七十三年以上残された課題の解決は容易ではない。しかしやり遂げなければならぬ」と決意を表明した。

さらに、関係閣僚、各採択されて閉会した。

「北方領土の日」の二月七日、領土問題の早期解決を目指す、政府と民間団体が主催する「北方領土返還要求全国大会」が東京・国立劇場で開催された。

## 日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰（遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝）、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部（孫・ひ孫）の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料 / 1,560円 (1年間12回 税金・送料込)

お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

# 一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が閉館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集帰還等各種事業の継続が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者ご遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

※賛助金につきましては、誠に勝手ではございますが、お一人様1万円程度からお願いしております。

### 賛助金のお振込みは

●郵便振替 00130-2-694929  
●みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930

口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイ）ニホンイソクカイ

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

## 友好親善 慰霊事業

# 31年度事業計画固まる

## 南方等17地域を実施予定

日本遺族会が、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の平成三十一年度の事業計画の概要がこのほど固まった。本年度は、数年前にソロモン諸島のツラギ、フィリピンのアパリを訪問するほか、昨年に続きミャンマー(特定地域)のラシオを訪問する予定である。参加費は10万円。

慰霊友好親善事業には、参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行している。

▼時期及び地域 実施概要参照  
▼参加費 10万円  
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明

会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関は、自身の手配となる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。

▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するので、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば

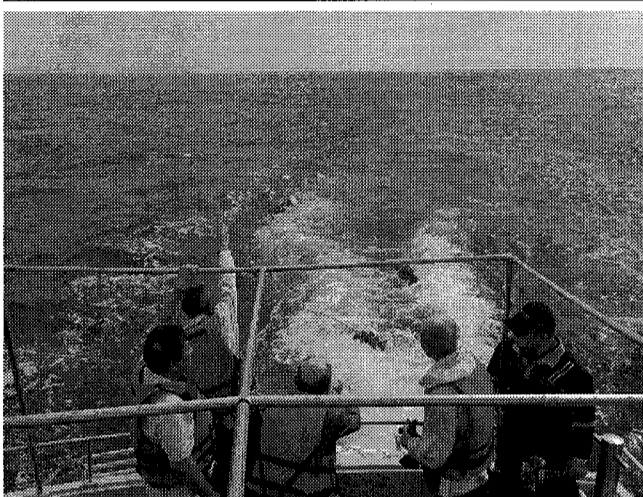
各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合がある。なお、同事業は、厚生労働省の一般公募入札にて補助金交付団体が決まるので、実施については交付団体に指定された場合に限り。

## 海上で花を手向ける

### パシー海峡の亡き父偲ぶ

市来健之助本会副会長を団長とする台湾・パシー海峡慰霊友好親善訪

問団は、一月十八日、全国十一都府県の遺族代表十三人が東京・靖国国会館に

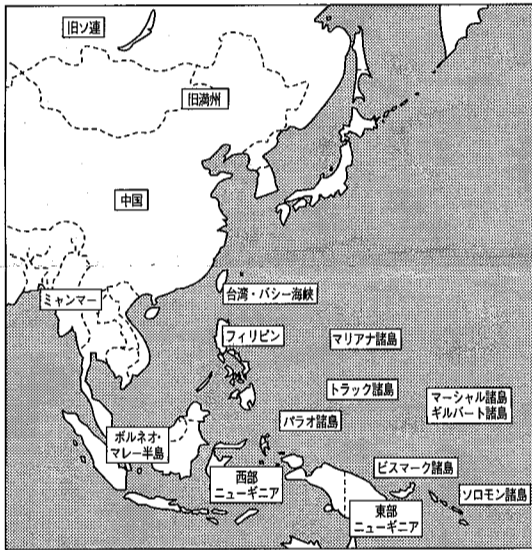


海没された亡き父たちに花を手向ける団員 = 1月22日、パシー海峡海上で



「玉蘭荘」を訪れ車椅子を寄贈 = 1月24日、台北で

陸軍病院の宜蘭分院跡で慰霊祭を行い亡き父を偲んだ。さらに訪問団は宜蘭から西進して台中へと南下。途中白沙岬の燈台に立ち寄り台湾海峡を望み花束を手向け手を合わせた。



## 平成31年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業概要

(広域地域)

実施地域	実施時期	募集人員
1 旧満州	平成31年8月上旬	40人
2 旧ソ連	平成31年8月下旬	40人
3 西部ニューギニア	平成31年9月上旬	40人
4 ソロモン諸島	平成31年9月下旬	20人
5 東部ニューギニア	平成31年10月上旬	42人
6 トラック・パラオ諸島	平成31年10月中旬	40人
7 ボルネオ・マレー半島	平成31年10月下旬	40人
8 フィリピン(1次)	平成31年11月上旬	120人
9 マリアナ諸島	平成31年11月下旬	40人
10 ミャンマー	平成31年12月中旬	60人
11 台湾・パシー海峡	平成32年2月上旬	30人
12 ビスマーク諸島	平成32年2月中旬	40人
13 マーシャル・ギルバート諸島	平成32年3月中旬	40人
14 フィリピン(2次)	平成32年3月中旬	120人
15 中国	平成32年3月下旬	80人

(特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員
1 西部ニューギニア	平成32年1月下旬	36人
2 東部ニューギニア	平成32年2月中旬	36人
3 ミャンマー	平成32年2月下旬	36人

## 本会への 賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願ひしている本会への賛助金につきましては、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、大変恐縮ではございますが都道府県名に ついては、送金方法によ

品々を供えて亡き父に語りかけ、冥福を祈った。慰霊祭終了後、中型ボートを借り上げ、やや荒波の中をパシー海峡方面へ南下。沖合いの海上で船と運命を共にした父上をはじめ、ご英霊に花やお酒を手向けて懇ろに用いた。

二十二日朝、ホテルの会議室で慰霊祭を行い、祭壇に故郷から持参した。

勝間正恵、高浪克子、河村紘一、田中啓一、各務洋子、ヨシハラトキオ(以上、一月一日から一月末日まで) 皆様からいただきました。誠にありがとうございました。

### 本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。